

| | | |
|---|---|--|
| <p style="text-align: center;">国語 I (Japanese I)</p> | <p style="text-align: center;">1 年・通年・3 単位・必修 5 学科共通 担当 現代文 松井 真希子 古 典 鍵本 有理</p> | |
| <p style="text-align: center;">〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)</p> | | |
| <p>〔講義の目的〕 本講義では総合的な日本語運用能力の向上を目指す。日本語を「運用」するためには、まず良質な文章に触れて言葉を「知る」必要がある。その中で、相手からの情報を受け取る（読み取る・聞き取る）ために、理解力や共感力などを養っていく。そうして知った言葉を「使う」ために、作文や発表を通して自分の意見を発信する機会を設ける。このとき、自身の核となる意見が必要となる。本講義では様々な文章を通して言語能力を高めるとともに自分なりの意見や視点を身に付けることを目的とする。</p> | | |
| <p>〔講義の概要〕 高等学校第 1 学年に相当する学力を身につけるため、高等学校用の教科書を使用する。それらを用いて様々な意見に触れ、多角的な思考力を養っていく。また、自分の意見を口頭や文章によって表現する機会、クラスメイトとの検討や議論を通して自分の考えを深める機会をもつ。 週 3 時間のうち、2 時間を現代文、1 時間を古典（古文・漢文）の時間に当てる。</p> | | |
| <p>〔履修上の留意点〕 現代文については予習プリントを配布するので、授業前に教科書を読み、漢字の書き取りや意味調べを行うこと。作文や話し合いの時間が有効に使えるよう、日頃から問題意識や批判的姿勢をもって物事を考える癖をつけてほしい。 古典については毎時間、予習をすること。教科書の本文を写し、大事な注なども写しておく。そして、意味がわからないと思ったところを授業で集中して聞くようにするとよい。古典のノートは定期的に提出を義務づける。</p> | | |
| <p>〔到達目標〕 前期中間試験：1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 文章を主体的に読解できる。3) 古文を正確に音読できる。4) 古文の内容を現代語でまとめたり表現したりすることができる。 前期末試験：1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 文章の主題をつかむことができる。3) テーマに応じた意見文が作成できる。4) 古典文法の知識を身につける。5) 漢文訓読の知識を身につける。 後期中間試験：1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 論理的な文章の構成がつかめる。3) 古文の内容を読みとり、心情を説明することができる。4) 漢詩の基礎知識を身につける。 学年末試験：1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 文章の論理展開をつかむことができる。3) 歌物語の特徴を味わい、内容を読みとることができる。4) 登場人物の心情を説明できる。5) 漢文の内容を理解し、中国思想についての基礎知識を身につける。</p> | | |
| <p>〔評価方法〕 定期試験成績（70%）を基本とし、これに課題提出（20%）、授業中の音読・発表等の態度や漢字テスト・小テスト（10%）を加えて総合的に評価を行う。</p> | | |
| <p>〔教科書〕 『精選 国語総合』（現代文編・古典編）（明治書院） 〔補助教材・参考書〕 『新国語便覧（新版三訂）』（第一学習社）、『常用漢字ダブルクリア』（尚文出版） 『古典にいざなう新古典文法』（本編・準拠問題集 とともに大修館書店）、その他独自補助教材 国語辞典を一冊準備しておくこと（電子辞書でもよい）。</p> | | |
| <p>〔関連科目〕 国語は、人文科学や社会科学系ばかりでなく、自然科学系科目を含む全ての科目の基礎でもある。</p> | | |

講義項目・内容

| 週数 | 講義項目 | 講義内容(現代文) | 自己評価* | 講義項目 | 講義内容(古典) | 自己評価* |
|--------------------|------------|--|-------|---------|--------------------------------------|-------|
| 第1週 | ガイダンス | 授業の目的や進め方を理解する。 自己紹介スピーチを行う。図書館ガイダンス。 | | ガイダンス | ノートの取り方を確認する。古典の表記について理解する。 | |
| 第2週 | 評論1-① | 山崎正和「水の東西」の全体を捉える。 | | 古文入門 | 「児のそら寝」を読み、古典の文体に親しむ。 | |
| 第3週 | 評論1-② | 山崎正和「水の東西」を読み、文化の「東西」について考える。 | | 説話を楽しむ① | 「正直の徳」を読み、おもしろさを味わう。文学史の知識を身につける。 | |
| 第4週 | 小説1-① | 芥川龍之介「羅生門」の構造を理解する。作者について知る。 | | 説話を楽しむ② | 「尼、地蔵を見奉ること」について、内容を読みとり、状況を理解する。 | |
| 第5週 | 小説1-② | 芥川龍之介「羅生門」を読み、主人公の状況、表現から読み取れる心情を考える。 | | 随筆① | 「徒然草」の序段を読み、作者について理解する。八十九段を読む。 | |
| 第6週 | 小説1-③ | 芥川龍之介「羅生門」を読み、登場人物の「論理」を考える。 | | 随筆② | 八十九段について、内容を理解し、この話のおもしろさを味わう。 | |
| 第7週 | 小説1-④ | 芥川龍之介「羅生門」の主題を考える。 | | 随筆③ | 九十二段を読み、作者の主張について考える。 | |
| 第8週 | 試験返却・評論2-① | 中間試験返却。 阿部公房「日常性の壁」の全体を捉える。 | | 古典文法① | 中間試験返却。古典文法の知識を身につける(品詞など)。 | |
| 第9週 | 評論2-② | 阿部公房「日常性の壁」を読み、「日常性の欠如」について考える。 | | 古典文法② | 古典文法の知識を身につける(動詞の活用など)。 | |
| 第10週 | 評論2-③ | 阿部公房「日常性の壁」を読み、意見を交換する。 | | 古典文法③ | 古典文法の知識を身につける(形容詞・形容動詞の活用など)。 | |
| 第11週 | 言語活動1-② | 短歌「白鳥は哀しからずや」を読んで、最も印象に残った歌について鑑賞文を書く。 | | 古典文法④ | 古典文法の知識を身につける(助動詞の活用など)。 | |
| 第12週 | 言語活動1-③ | 鑑賞文について意見交換をする。 | | 古典文法⑤ | 古典文法の知識を身につける(助動詞、注意すべき表現など)。 | |
| 第13週 | 小説2-① | 村上春樹「鏡」の構造を理解する。作者について知る。 | | 漢文入門① | 漢文訓読の基本的な知識について確認する。 | |
| 第14週 | 小説2-② | 村上春樹「鏡」を読み、状況の変化と「私」の心情の変化を確認する。 | | 漢文入門② | 漢文の格言を読み、漢文の訓読に慣れる。 | |
| 第15週 | 言語事項 | 村上春樹「鏡」の主題を考える。 | | 漢文入門③ | 故事成語の由来を読み、おもしろさを理解する。 | |
| 前期末試験 | | | | | | |
| 第16週 | 試験返却・評論3-① | 期末試験返却。多木浩二「世界中がハンバーガー」の全体を捉える。 | | 物語を楽しむ① | 「竹取物語」の「かぐや姫の生ひ立ち」を読む。文学史的な知識を身につける。 | |
| 第17週 | 評論3-② | 多木浩二「世界中がハンバーガー」の表現上の特徴を理解する。 | | 物語を楽しむ② | 「竹取物語」の「かぐや姫の生ひ立ち」を読む。古典常識を身につける。 | |
| 第18週 | 評論3-③ | 多木浩二「世界中がハンバーガー」を読んで、「ファーストフードの普及」について考える。 | | 物語を楽しむ③ | 「竹取物語」の「かぐや姫の生ひ立ち」について、内容を読み取る。 | |
| 第19週 | 評論3-④ | 筆者の主張を踏まえた上で、自身の意見を、表現に注意しながらまとめる。 | | 物語を楽しむ④ | 「かぐや姫の嘆き」を読み、主人公の心情を読みとる。 | |
| 第20週 | 小説3-① | 太宰治「富岳百景」の構造を理解する。作者について知る。 | | 物語を楽しむ⑤ | 「かぐや姫の嘆き」を読み、「竹取物語」の主題をまとめる。 | |
| 第21週 | 小説3-② | 太宰治「富岳百景」を読んで、主人公と周囲の人との関係を整理する。 | | 漢詩の鑑賞① | 「江南春」「春暁」を読み、漢詩の知識を身につける。 | |
| 第22週 | 小説3-③ | 太宰治「富岳百景」を読んで、主人公の富士に対する印象や批評を整理する。 | | 漢詩の鑑賞② | 「静夜思」「江雪」を読み、それぞれの詩に込められた思いを読みとる。 | |
| 第23週 | 小説3-④ | 太宰治「富岳百景」の主題を考える。 | | 漢詩の鑑賞③ | 「春望」を読み、時代背景から詩に込められた思いを読みとる。 | |
| 第24週 | 試験返却・評論4-① | 中間試験返却。内田樹「働くことの意味」の筆者の主張を読み取る。 | | 歌物語を読む① | 中間試験返却。「伊勢物語」の文学史的な知識を身につける。 | |
| 第25週 | 評論4-② | 内田樹「働くことの意味」の要約と自身の意見を、文全体の構造を意識しながらまとめる。 | | 歌物語を読む② | 「芥川」の章段を読み、内容を理解する。 | |
| 第26週 | 評論4-③ | 要約と意見についての講評、意見交換。 | | 歌物語を読む③ | 「芥川」の章段を読み、登場人物の心情を読みとる。 | |
| 第27週 | 小説4-① | 志賀直哉「城の崎にて」の構造を理解する。作者について知る。 | | 歌物語を読む④ | 「東下り」の章段を読み、当時の旅や習慣について学ぶ。 | |
| 第28週 | 小説4-② | 志賀直哉「城の崎にて」を読み、語り手の状況・心情を表現から読み取る。 | | 歌物語を読む⑤ | 「東下り」の章段を読み、和歌の技巧について学ぶ。 | |
| 第29週 | 小説4-③ | 志賀直哉「城の崎にて」を読み、語り手の「死」とらえ方をまとめる。 | | 歌物語を読む⑥ | 「東下り」の章段を読み、当時の人々の生活について理解し、心情を読みとる。 | |
| 第30週 | 小説4-④ | 志賀直哉「城の崎にて」の主題を考える。 | | 中国の思想 | 『論語』を読み、孔子の思想について理解する。 | |
| 学年末試験・テスト返却・学力補充期間 | | | | | | |

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)